

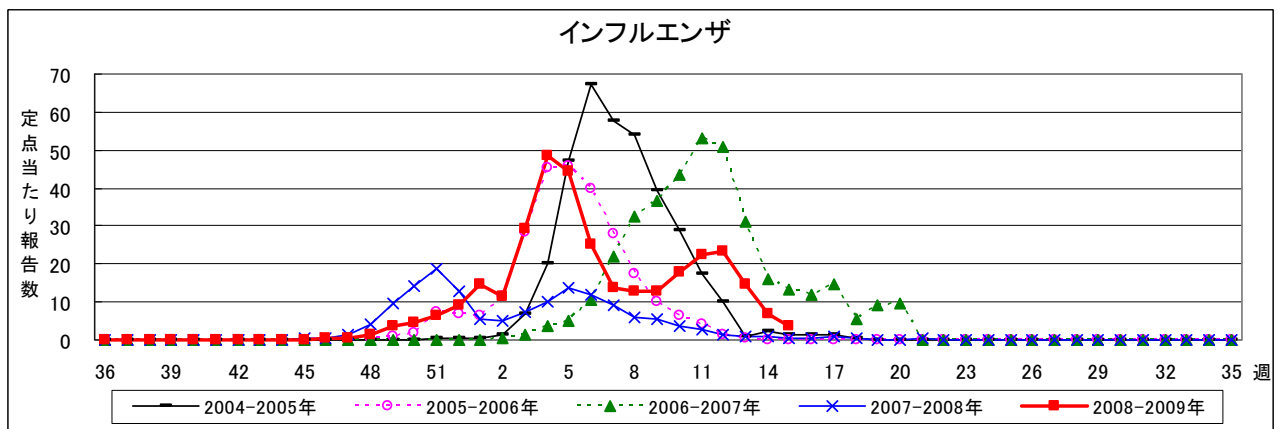
さいたま市におけるインフルエンザの流行状況（速報） 2008-2009年シーズン、第15週（4月6日～4月12日）

I. インフルエンザ患者発生報告状況

1 感染症発生動向調査による定点医療機関からの患者報告状況

第15週（4月6日：月曜日～4月12日：日曜日）のインフルエンザ定点医療機関（市内38ヶ所）からの患者報告数は141人でした。「**定点当たり報告数**」は、前週の**6.86**から**減少し、3.71人**となりました。「**流行警報継続基準値**」の定点あたり報告数10には達していません。流行は終息に向かっているものの、継続しています。第15週までの累積報告患者数は、12,066人となりました。

予防及び感染拡大防止のため、咳エチケット・手洗い・ウガイの励行、並びに体調の悪いときは、早めに休み医療機関を受診するよう、御指導をお願いします。



2 インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等

第15週は、学級・学年閉鎖の報告はありませんでした。なお、第16週は4月13日現在（4月14日から閉鎖するもの）、学年閉鎖1学年（2学級）の報告があります。

II. 市内病原体定点等からのインフルエンザ検体ウイルス検出状況について

今シーズン、第15週までに提供された検体からのウイルス検出状況は、表のとおりです。

国立感染症研究所感染症週報2009年第13週によれば、直近の4週間（第10週～第13週）に、全国で分離されたインフルエンザウイルスは、AH1亜型（ソ連型）が41件、AH3亜型（香港型）が23件、B型が199件報告されており、第9週以降は、B型が最も多くなっています。

病原体定点の先生方には、今後も引き続き、検体採取のご協力をお願いします。

インフルエンザウイルス検出数（'08-'09シーズン）

検体採取週	分離 ¹⁾		
	A型		B型
	H1亜型	H3亜型	
2008年第49週	2	1	0
第50週	4	4	0
第51週	1	0	0
2009年第2週	1	2	1
第3週	1	0	1
第4週	8	2	3
第5週	1	0	0
第8週	1	0	0
合計	19	9	5

1) ウイルスそのものが検出されたもの

※この情報は4月15日現在の速報です、後日データの修正をすることがあります。